

早川 公二 議員 政新会



問 市内企業誘致の促進を

答 ストロングポイントをPRの柱に

問 企業誘致の進め方は。

答 (市民生活部長) 産業

や物流拠点である弥富ふ頭、鍋田ふ頭へ、優遇制度などをPRし進めていく。

問 誘致を進めている業種は。

答 航空宇宙関連産業や自動車関連産業などの製造業。

問 企業用地の現状は。

答 名古屋港管理組合内の分譲地約2ha。将来的に約9・6haを予定。

問 企業用地の増設策は。

答 (建設部長) 駒野地区

に約17haの誘致を進めてきた。八穂地区、末広地区の新産業エリアに立地誘導を進める。

問 これまでの誘致の実績は。

答 (市長) 駒野地区に自動車関連事業者、物流事業者を誘致。今後もトップセ

ールスマンとして誘致促進に努める。

※ストロングポイントとは
長所強み

問

騒音・振動公害
状況は

答

法に基づき指導

問 騒音・振動の苦情件数は。

答 (市民生活部長)

平成30年度、騒音相談10件、振動相談1件。令和元年度、騒音相談16件、振動相談2件。

問 対策は。

答 法律に基づき指導。

問 指導内容は。

答 法が適用されない事業所は改善依頼。

問 改善のない事業所への対策は。

答 強制力がなく、改善対策を継続的に要請。

問 問題解決に至らない場合は。

答 被害者本人が、愛知県公害審査会に申し立て。

